

**令和4年度
第2回苫小牧市福祉のまちづくり推進会議 議事録**

■ 日 時：令和4年11月29日（火） 14時00分から14時40分まで

■ 場 所：苫小牧市教育福祉センター 5階大講堂

■ 出席者：16名

<委員>

佐々木 彩（議長）

井上 あゆみ 井上 啓一 井村 友美 江尾 清

小林 裕子 星 道博 本間 貞樹 横山 武三（敬称略）

<事務局>

白川福祉部長 上川福祉部次長 寺西障がい福祉課長 大黒課長補佐

渡辺主査 井須主査 宮川主任主事

■ 欠席者：4名

<委員>

千寺丸 洋 竹本 幸史 松原 敏行 山本 茂夫

■ 次 第

1 閉 会

2 議 事

(1) 福祉のまちづくり推進計画・障がい者計画アンケートの動向について

(2) 当事者団体インタビューと庁内関係部署の動向について

(3) 新たな計画の概要とパブリック・コメントについて

(4) その他

3 閉 会

■ 議事要旨等：次項以降

【議事要旨】

説明事項（説明者：事務局 渡辺・井須）

- (1) 福祉のまちづくり推進計画・障がい者計画アンケートの動向について
- (2) 当事者団体インタビューと庁内関係部署の動向について
- (3) 新たな計画の概要とパブリック・コメントについて
- (4) その他（事務局より東開文化交流サロン開設の案内）

～資料に基づき説明～

【質疑要旨】

議事(2) 当事者団体インタビューと庁内関係部署の動向について

佐々木議長： 手話通訳者の派遣について説明がありましたが、通訳者の人数や件数はどのようなになっていますか。

寺西課長： 市で登録している通訳者の方は約20名程度おります。そこから年間300件程度通訳者の派遣をしております。

本間委員： 例えば医療機関等に手話通訳員を常駐させる等の考えはありますか。

寺西課長： 手話を広げていくという意味では、苫小牧市では手話言語条例を平成29年に策定しており、手話講習を充実させております。これからも少しでも広めていきたいと思っております。

本間委員： 目の不自由な方にバリアフリー化は必要と思いますが、それ以外にも施設内でも多様な障がいに対応できるような取り組みがあればよいと思っております。

寺西課長： 障がいと言ってもいろんな障害があり、ハード面でも対応が必要と思いますが、ソフト面では多様な障がいを知ってもらう、あいサポート運動で少しでも理解を広げて、ハード面で出来ない部分を補っていったらと思っております。

議事(3) 新たな計画の概要とパブリック・コメントについて

本間委員： パブリックコメントの実施期間は何日間程度でしょうか。かなりスケジュールがタイトだと思いますが可能でしょうか。

寺西課長： 30日間のパブリックコメントとなっております。スケジュールはギリギリですが、可能と考えています。

質疑終了

その他の事項については質疑がなく、会議終了